

●山形県福祉のまちづくり条例／適合証・ロゴタイプの

デザインコンセプト

- ◆「山形県福祉のまちづくり条例」の制定趣旨をヴィジュアルに表現するモチーフとして、誰にも分かりやすく親切と好意の象徴である「ハート」を選定した。
- ◆「ハート」はやさしく暖かいイメージを老若男女を問わず感じさせるシンボル性をもつ。それ故、他の県でもモチーフとして用いている例も少なくない。
- ◆そこで、「山形県」ではイニシアルである「Y」に見えるようにハートを構成し、他県との差を意識して表現した。
- ◆全体の形は、上に向かって気持ち（ハート）がふくらむ感じを与え、「花」に見えるようにデザインしている。
- ◆ほとんどの県は、形状として正方形あるいは長方形を用いている。このデザインでは、正方形を45度回転させた状態にしている。その結果、製作原価はそのままに、イメージをフレッシュにできるばかりではなく、美しいレイアウトを可能にした。
- ◆上部の半円状の文字レイアウトは、「和」のイメージを感じさせようとしている。
- ◆地色は、汚れやすく冷たい感じになりやすい「白」を避け、暖かいイメージを与える「アイボリー」にし、ハートも暖色系でまとめ、文字の黒で全体的秩序をもたせている。

デザイン制作者

馬場雄二

(ヴィジュアル デザイナー／東北芸術工科大学 教授)

